



海南保育所…新年お楽しみ会「ふうせん羽子板」



海陽町議会だより

12月定例会

発行 徳島県海陽町議会 TEL (0884) 73-4164
編集 広報編集特別委員会 E-mail gikai@kaiyo-town.jp



Vol. **67** (2023.2)

おもな内容

特集記事 議員定数削減	2P
町長行政報告	10P
一般質問	12～17P

議員定数条例改正!

[14名から12名に!]



改正案は、小山議長を除く全議員が賛成者として署名。代表して、東副議長が提出し、全会一致で可決しました。

次回の議会議員一般選挙(令和8年)から施行されます。



【提案理由】

平成18年の3町合併を機に、海陽町議会議員定数は20名とされた。その後、平成22年改選時に16名、平成26年改選時には14名と、順次削減が行われ現在に至っている。

昨年9月定例会には「町財政の健全化に向け、海陽町議会議員定数の削減を求める請願」が提出され、1名の削減を求められた。しかしながら、改選まで約7ヵ月と迫っており、様々な課題や問題点について、十分な議論・検討がなされていないことなどから、賛成少数で不採択となった。ただし、この請願を付託された議会運営委員会では、「改選後の議会において、議員定数を含め多方面から議会のあり方を協議検討していくことを申し送る」と、委員長報告に盛り込まれたところである。

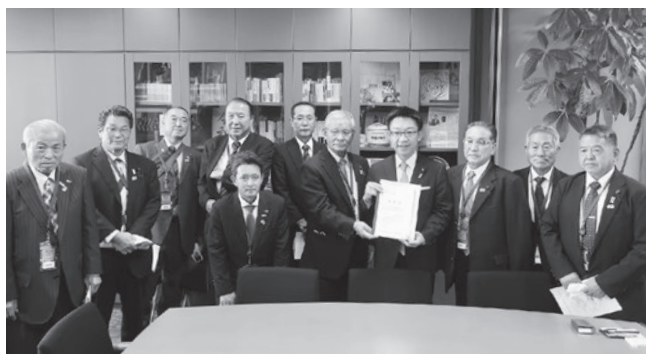
このことを受け、今年5月に改選された新しい議会体制の中で、全議員が将来を見据えた議員定数の在り方について、様々な観点から慎重に検討を重ねてきた。議論の中で、将来的な町財政の悪化や人口減少等への危機感は避けられず、また昨年の請願を始め、周囲から寄せられる住民の声に答えることは、議員の責務であり、議会存在の基盤であるという共通認識を確認した。

以上のことから、議員のなり手不足の問題や、地域の声が拾い難くなること、また執行部への監視機能の低下が懸念されるなど課題は多々あるが、町の財政健全化の施策に対し、議会としても最大限の努力をする必要があり、議員定数の削減は行うべきである。

よってここに、海陽町議会議員の定数を14名から2名削減し、12名とする案を提出するものである。

○ 海部安芸議長連合の要望活動

海部郡・安芸郡議長連合会により、四国東南部地域の道路整備について、両県および四国ブロック選出国會議員（16名）に要望活動を行いました。



中西祐介参議院議員に要望する 10 名の議長

○ 意見書の提出

刑事訴訟法の再審規定（再審法）の改正を求める意見書

冤罪被害者を迅速に救済するため、次のとおり再審法制の改正を強く求める。

1. 再審請求人に、検察が有する証拠の全面開示を法整備すること。
2. 再審開始決定に対する検察の不服申立てに、一定の制限を加えること。

地方自治法第99条の規定により意見書を提出。

提出先：衆議院議長・参議院議長・
内閣総理大臣・法務大臣

○ 大里松原危険木伐倒に対する支援の要望を採択

要 望 書（要旨抜粋）

大里松原は、平成29年の台風浸水などにより、枯死被害が発生している。令和4年春には、例年の伐倒に加えて、危険木の伐倒処理を行った。松林は防潮、防風など地域住民の生活を守る防災機能を備えており、引き続き自然遺産である松原の保全に格別のご高配を賜り、費用支援に特段のご配慮をいただきたい。

大里部落長ほか役員6名

※審議の結果、全会一致で採択しました。



危険木の伐倒処理が行われた大里松原の松林

16日 議会広報編集特別委員会
16日 第4回定例会（3日目）
15日 第4回定例会（2日目）
13日 文教厚生常任委員会
12日 議会運営委員会
12日 総務産業建設常任委員会
12日 第4回定例会（1日目）
5日 議会全員協議会
5日 議会運営委員会

12月

8日 海部・安芸議長連合会国會議員要望（東京都）
9日 町村議会議長全国大会（〃）
10日 徳島県町村議会議長会研修会（〃）
14日 文化・体育功労者表彰式
22日 徳島県町村議会議長会役員会（徳島市）
24日 議会全員協議会

11月

31日 議会全員協議会
23日 戦没者追悼式
22日 未知フォーラム2022（阿南市）
17日 第3回臨時会
14日 連盟勉強会（安芸市）
13日 四国8の字ネットワーク整備促進四国東南部

10月

5日 議会広報編集特別委員会
12日 議会運営委員会
12日 議会全員協議会
12日 議会広報編集特別委員会

議会のういき

10月1日から
12月31日まで

海陽町議会では総務産業建設、文教厚生との2常任委員会を設置しています。本会議から付託された議案などを活発に審議・調査しました。委員長報告から要旨を抜粋しお知らせします。

総務産業建設常任委員会

委員長 叶岡 徹

12月12日開会。

開会後、一般会計補正予算に計上されているマリンジャム駐車場の購入予定地と、大里松原海岸の巡視を行った。その後、当委員会が所管する定例会提出議案について、各担当課から説明を受けた。

条例改正

○ 職員の定年等に関する条例改正など4条例
地方公務員法の改正に伴い、職員の定年年齢の引き上げに伴うもの。

委員の問 次年度以降の行政専門員、政策推進員などの再任用職員の運用はどうなるのか。

鉄骨柱や基礎の補強工事などにより、変更契約を行う。

予算関係

○ 一般会計補正予算
総務費

・ 県知事及び県議会議員一般選挙費
〔910万円〕

農林水産業費

・ 林業振興事業補助金
〔1181万円〕

商工費

・ マリンジャム駐車場用地購入費
〔1554万円〕

公債費

・ 地方債繰上償還金
〔1億4216万円〕

○ 課設置条例の改正条例
町の課題解決や業務の効率化を図るため、令和5年4月1日より組織改編を行う。

契約関係

○ 中里農業構造改善センター耐震補強及び改修工事変更請負契約

委員の問 高規格道路の整備に伴う盛土について、大雨による浸水被害への影響など問題はないのか。地域住民から意見はなかったのか。

答 地域対策協議会において、住民から意見はあったが、国からの説明で納得いただいたと考えている。今後の浸水対策として、母川の堆積土対策や善蔵川の河川改修などを県に要望していく。

○ 水道事業会計補正予算
・ 善蔵川改修に伴う配水管仮設工事の設計委託料の追加補正。

要望書等

○ 国に対し、刑事訴訟法の再審規定の改正を求める意見書の提出を求める陳情

審議の結果、採択。

○ 大里松原危険木伐倒に対する支援の要望

委員の問 さらに危険木を伐倒する必要があるのでは。

委員の問 過去に大里部



地元から要望のあった大里松原（松林）を巡視

落から、国や県の補助事業についての要望はあったが、今後も町単独事業への要望が出てきた場合どうするのか。

答 森林環境譲与税の補助対象となり、今後も大

里部落と協力していく。審議の結果、採択。

その他主な事業は、左のページに特集しています。

光のアートで飾り付け

DMV一周年 記念イベント

100万円

D MV一周年を記念して
年末年始のにぎわいづ
くり光の演出をします。



イルミネーションで彩られた文化村

住民サービス確保のために



出張所事務が委託される郵便局(浅川)

出張所事務を 郵便局へ委託 準備費

382万円

人 口減少、利用者減少の
ため、浅川・川上出張
所を閉鎖し、住民サービスの
継続のため、それぞれ郵便局
へ事務委託します。

(令和5年4月1日から開始)

老朽化のため改修します

県営土地改良事業 (若松堰改修)負担金

320万円

県 により、老朽化している
若松堰が護床ブロックな
どにより改修されます。

事業費 4000 万円の 8%を町が
負担します。



改修される若松堰

文教厚生常任委員会

委員長 富田 寛

12月13日開会し、当委員会所管の協議事項について、説明を受けた。

条例改正

○ 課設置条例の改正条例
13課を再編し、令和5年4月より10課体制とする。

指定管理

○ 宍喰保育所の指定管理
令和5年4月1日から3年間、恵の園福祉会を指定。

委員の問

宍喰保育所の園児数と、延長保育と土曜日を利用している現状は。

答 園児数は53名、うち延長保育を利用しているのは月1〜3名、土曜日

の利用は少人数である。

委員の問

出生数の見込みと、少子化が進む中で今後の保育所の在り方は。

答 出生数は例年30名前後で推移している。令和4年度は25名の見込みとなっている。今後の保育所・幼稚園の在り方については、行財政改革検討の中で、認定こども園への移行も含め協議をしている。民間の2保育所が継続していけるように後押しをしていく。

予算関係

○ 一般会計補正予算

総務費

・ 海部庁舎の自家発電装置の更新工事請負費

〔1800万円〕

・ 戸籍情報システムの改修

〔497万円〕

戸籍証明書等の広域交

付などを目的とする。

民生費

・ 障害者福祉サービス給付費

〔751万円〕

・ 二葉保育園運営委託料

〔123万円〕

・ 宍喰保育所運営委託料

〔265万円〕

・ 乳幼児医療費助成

〔180万円〕

委員の問

宍喰保育所と二葉保育園の途中入所者数が3名で同じだが、委託料が違う理由は。

答 途中入所の時期と年齢による委託単価の違いである。

衛生費

・ 新型コロナウイルス感染症対策事業補助金

〔600万円〕

民間の3医療機関に発熱外来用の医療機器購入助成。

・ 新型コロナウイルスPCR自主検査委託料

〔340万円〕

教育費

・ 電気料金高騰による光熱費の追加

3小学校に138万円、海陽中学校に16万円、幼稚園に34万円、海南文化村に200万円、海陽学校給食センターに84万円を追加する。

委員の問

小中学校に太陽光発電を設置しているが、その効果は。

答 令和3年度の年間の売電金額は、小学校で6万7千円、中学校が9万5千円であり、電気代の削減効果が出ている。

○ 特別会計補正予算

国民健康保険特別会計補正予算

・ 国保税のエルタックス導入経費

〔51万円〕

海南病院事業会計補正予算

算

・ 給与改定に伴う人件費

〔262万円〕

・ 電気代高騰による光熱費

〔80万円〕



3年ぶりに開催された海陽町ふれあい駅伝（令和5年1月15日）

その他主な事業は、左のページに特集しています。

高騰する電気料金に対応します

電気料金等高騰に伴う
施設管理費

1144万円

電 気料金等の高騰により、
各施設の光熱費が不足
しているため、追加します。

各庁舎や学校、観光施設な
ど 20 施設に対応します。



施設規模が大きい海南文化村

交付金確定による財源振替

新型コロナ対応地方創生臨時交付金

2億421万円

国 の新型コロナ対応地方創生交付金が確定したため、
各事業の財源に振り分けをします。

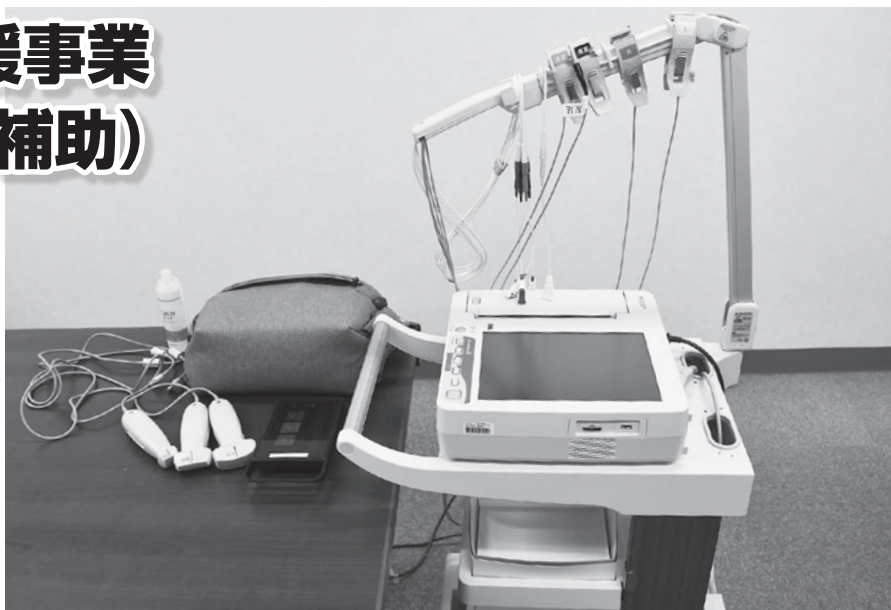
プレミアム商品券など、これまでに実施している 36 事業
が対象です。

発熱外来のために活用！

医療機関支援事業
(備品等購入補助)

600万円

町 内でコロナ検査を
実施している 3 医
療機関に対し、発熱外来用
の医療機器(ポータブルエ
コー・ポータブル心電図等)
の購入を助成します。



海南病院に備えているポータブルエコーとポータブル心電図

議案審議

Q1 特定の事務を取り扱う郵便局の指定について



木内議員

浅川・川上の各郵便局管内の人口は。また、町から郵便局への手数料は、どのように支払うのか。

浦川総務課長

令和4年3月時点の人口は、浅川地区が833名、川上地区が642名。郵便局への手数料は、委託料として日本郵便（株）に支払う。交付事務で約50万円を見込んでいます。

令和4年度補正予算

Q2 商工費国庫補助金〔1億1769万円〕



高畠議員

この中の、地域一体となった観光地の再生観光サービスの高付加価値化事業とは具体的にどのようなものか。

戎谷商工観光課長

商工会が事業主体となって今進めている。観光事業を中心とした産業を、町全体を面として捉え、一体的な事業展開として、計画を立てている。国補助事業等の申請には、その計画が必要となってくる。

Q3 防犯灯工事請負費〔18万円〕



佐川議員

どこに設置するのか。設置基準はどのようにしているのか。

谷岡危機管理課長

海南浜崎地区と穴喰旧避難タワー付近に新設予定。新設には、地域代表者等の承認を付けた申請書が必要で、受理後に現場を確認した上で決定している。

Q4 林業振興費補助金〔1181万円〕



富田議員

この補助事業の内、保育間伐事業補助金130万円、搬出間伐事業補助金420万円、森林環境保全整備事業256万円の予定面積は。また、補助先は、森林組合、森林機構どちらか。

乃一農林水産課長

保育間伐事業の国庫補助部分200万円、国庫補助でない部分10万円、搬出間伐事業70万円、森林環境保全整備事業32万円の見込み。補助先は、森林組合および徳島森づくり推進機構の両方である。

Q5. 光熱水費の増額



原議員

光熱水費の電気代が、各施設とも増額しているが、町全体でどのくらいになるのか。

浦川総務課長

電気料金の追加として、全会計合わせて1109万円である。

Q6. 穴喰公共下水道事業特別会計



長岡議員

穴喰公共下水道事業の最終年度が延びてきているが、現時点でどの程度の予測をしているのか。また、日比原との接続は。

村本上下水道課長

令和8年度完了予定で、現在進めているが、海部道路や防災公園などと調整を行っており、1年ほど延びる可能性もある。

日比原農業集落排水との統廃合は、令和8年に計画し、令和9年、10年で実施予定である。

Q7. 海南病院事業会計



叶岡議員

海南病院の経営改善のために、インフルエンザやコロナワクチン接種などについて、町職員に強制ではなく、できれば海南病院でと案内はしているのか。

阿部副町長

海南病院を積極的に利用しようとして、管理職に話した。職員はじめ、町民が海南病院を利用していただけるよう、できる限りの情報提供をしていきたい。

課設置条例の改正

Q8. 課の新設・統廃合について



見吉議員

行革政策課については、行財政改革に関することと非常に広範囲になるが、具体的にどのような改革していくのか。

(この他、各課への質問があった。)

阿部副町長

第4次行財政改革プランを昨年度策定し、今年度、特に重点課題について、海南荘、庁舎の在り方、漁火、幼保施設の再編など重要テーマについて、各課が所管することになるが、全体の管理を行革政策課が担う形で事務分掌を整理している。

「これからも

チャレンジ」

町長 三浦 茂貴

住み良い町の実現

10月に、民間委員による行財政改革推進委員会を開催した。行財政改革プランに掲げる取組項目についての進捗状況を報告し、庁舎の在り方、浅川・川上両出張所の郵便局への事務委託など議論していただいた。

新しい技術（DX）も駆使しながら厳しい財政状況の中でも住民目線も忘れず取り組んでまいりたい。

介護職員が不足し、入所者の受け入れが困難になっている特別養護老人ホーム海南荘については、今後の在り方検討会を設置した。

県営、善蔵川河川改修

の新規事業化についての要望活動も行っている。

にぎわうまちの実現

8月8日から始まった海陽町元氣プレミアム商品券について、11月30日現在、購入率73%、販売総額1億7872万円の経済循環となっている。

また、「かいようウキウキ商品券」1万円分を各戸へ配布した。

ふるさと納税は、昨年同時期と比較すると寄付金額、件数ともに約25%増となっている。

今後も魅力ある返礼品の開発に努め、事業者の所得向上と町のPR、財源獲得に向け、積極的に取り組んでまいる。

阿佐海岸鉄道DMV事

業関連については、元専務の逮捕事件以降、様々な対応に追われた。コロナ関連や車両の不具合による減便など、利用者や町民の皆様へご迷惑やご心配をお掛けした。

しかしながら、現在、利用状況は順調に推移しており、ピンチをチャンスに変えて、今後はJR

牟岐線とも一体となった利用促進と地域活性化に取り組んでいきたい。

浅川漁協と鞆浦漁協の合併調印式が行われ、1月中旬には統合が完了する見込みである。

はぐくむまちの実現

グローバル教育事業は、英検全額補助をしている。中学3年生の受験率は今年度も98%で、英会話オンラインサービスの導入や国際交流イベントなど、英語力を伸ばすための取り組みを精力的に実施している。

学校におけるICTの活用は、GIGAスクール推進支援事業の採択を受けて、海南小学校・海陽中学校でのタブレット

を活用した共同学習など、ICT支援員のサポートにより、全体の底

上げに取り組んでいる。海陽町は合併後16年が経過した。基礎は固まったものの、これまでの当たり前を当たり前とせず、時代の波に取り残されないよう、これからもチャレンジの気持ちを持って進んでいきたい。



20歳を祝う会であいさつをする三浦町長（令和5年1月2日）

第4回定例会

議案の審議

令和4年第4回定例会は、12月12日開会、町長より19議案、議員から2議案が提出され、審議の結果原案どおり可決し、12月16日閉会した。

条例関係

- ・職員の定年等に関する条例の一部を改正する条例
- ・地方公務員法の一部を改正する法律の施行に伴う関係条例の整備に関する条例
- ・職員の高齢者部分休業に関する条例
- ・定年前に退職する意思を有する職員の募集及び認定に関する条例の一部を改正する条例
- ・職員の給与に関する条例の一部を改正する条例
- ・出張所設置条例を廃止する条例

契約関係

- ・中里農業構造改善センター耐震補強及び改修工事変更請負契約
変更前契約金額 1億222万円
変更後契約金額 1億512万円
契約の相手方 株式会社 坂本工務店

予算関係

- ・一般会計補正予算(第6号) 2億8935万円↑
- ・国民健康保険特別会計補正予算(第3号) 127万円↑
- ・後期高齢者医療特別会計補正予算(第3号) 5万円↑
- ・介護保険特別会計補正予算(第3号) 9万円↑
- ・浅川公共下水道事業特別会計補正予算(第2号) 5万円↑
- ・海部公共下水道事業特別会計補正予算(第3号) 6万円↑
- ・宍喰公共下水道事業特別会計補正予算(第2号) 48万円↑
- ・水道事業会計補正予算(第3号) 272万円↑
- ・海南病院事業会計補正予算(第4号) 342万円↑

注釈
↑ 増額
↓ 減額

指定管理等

- ・特定の事務を取り扱う郵便局の指定について
浅川・川上出張所廃止に伴い、郵便局に事務を委託
- ・指定管理者の指定について
施設の名称 宍喰保育所
- ・指定管理者 社会福祉法人 恵の園福祉会
- ・指定の期間 令和5年4月1日から3年間

議員提案

- ・海陽町議会議員定数条例の一部を改正する条例 ※ 2ページ参照
- ・刑事訴訟法の再審規定(再審法)の改正を求める意見書 ※ 3ページ参照

第3回臨時会

議案の審議

第3回臨時会は、10月17日開会、町長より次の2議案が提出され、審議の結果、原案どおり可決し閉会した。

予算関係

- ・一般会計補正予算(第5号) 2億2955万円↑
- ・海南病院事業会計補正予算(第3号) 427万円↑

注釈
↑ 増額
↓ 減額

12月補正予算後の歳入歳出予算

歳入	12月補正	補正後	構成比率
町税	0	6億2,161万2千円	7.6
地方譲与税	0	1億3,960万円	1.7
利子割交付金	0	40万円	0.0
配当割交付金	0	420万円	0.1
株式等譲渡所得割交付金	0	550万円	0.1
法人事業税交付金	0	730万円	0.1
地方消費税交付金	0	1億5,120万円	1.9
環境性能割交付金	0	340万円	0.0
地方特例交付金	0	250万円	0.0
地方交付税	0	38億2,168万円	47.0
交通安全対策特別交付金	0	60万円	0.0
分担金・負担金	180万円	3,992万3千円	0.5
使用料・手数料	0	9,527万7千円	1.2
国庫支出金	2億1,587万5千円	8億3,293万8千円	10.2
県支出金	907万7千円	5億107万円	6.2
財産収入	0	4,533万1千円	0.6
寄附金	0	620万円	0.1
繰入金	△1億7,346万1千円	7億6,636万4千円	9.4
繰越金	1億7,845万3千円	2億7,223万円	3.3
諸収入	60万8千円	1億4,054万3千円	1.7
町債	5,700万円	6億7,112万9千円	8.3
合計	2億8,935万2千円	81億2,899万7千円	100.0

歳出	12月補正	補正後	構成比率
議会費	6万4千円	6,782万5千円	0.8
総務費	2,270万4千円	12億4,055万6千円	15.3
民生費	1,782万7千円	19億6,276万8千円	24.1
衛生費	3,744万7千円	7億8,952万7千円	9.7
農林水産業費	3,505万円	5億5,357万2千円	6.8
商工費	2,039万9千円	4億7,715万9千円	5.9
土木費	638万8千円	7億7,237万9千円	9.5
消防費	153万2千円	6億568万1千円	7.5
教育費	851万8千円	7億3,041万円	9.0
災害復旧費	0	2,405万円	0.3
公債費	1億4,216万3千円	8億8,816万円	10.9
諸支出金	△274万円	243万円	0.0
予備費	0	1,448万円	0.2
合計	2億8,935万2千円	81億2,899万7千円	100.0



東 久博 議員

総合計画の人口目標は 実現可能か

〈まち・みらい課長〉

厳しい状況だが、
各種対策に取り組んでいく

問 総合計画では、2040年の推定人口は、現在の半分近くとなっている。将来人口目標の9000人は実現可能なのか。

答 中内まち・みらい課長

人口目標を達成するため、各施策を展開しているが、現在8654人となっている。当初目標は、高過ぎたと言わざるを得ない。今後も子育て環境の充実や移住支援など、人口減少対策に引き続き取り組んでまいりたい。

元気な町のため 最も重要な施策は

〈まち・みらい課長〉

地域コミュニティが
最も重要と認識している

問 計画策定においては、本町への愛着と誇りを醸成し、ますます元気な町となることを目指している。住民と行政が一体となったまちづくりを実現するため、最も注意する事案、力を入れる施策は何か。

答 中内まち・みらい課長

人口減少に歯止めをかけ、安心して住み続けることができるまちづくりを実現のため、地域コミュニティの維持・再生が最も重要であると認識している。多様化する地域の実情ニーズを把握しながら、各種事業を推進してまい

住民が満足するまちづくりとは

〈町長〉 都会との格差を感じない程の
便利な生活を基本とする

問 町は総合計画に基づき、着実な事業展開を行い、その効果を検証し次の施策につなげる必要がある。行財政改革プランの重点項目を強力に進める体制を構築した上で、住民が満足し、海陽町に住みたくなる人を増やすまちづくりが重要であると考え。町長の見解は。



のべ16世帯が利用してきた「神野移住者体験住宅」

答 三浦町長

「近き者説（よろこび、遠き者来（きた）る）」というところにあると思っている。孔子の言葉だが、そばにいるひとが喜べば、自然と遠くからもひとが寄ってくるという意味である。住民が、都会との格差を感じない程度の便利な生活を基本に置

き、行財政改革も進めてまいりたい。
また、教育と医療と経済をしっかりと構築していく中で、移住定住を推進し、住民の満足度が上がるよう、これから職員とともに将来の方向性が見える基本計画、また実施計画を作ってまいりたい。

漁船の処分に補助はできないか

〈農林水産課長〉

制度設計を検討している



富田 寛 議員

問 近年、高齢化により漁師を廃業したいが使用していた船舶の扱いに困っているという声を聞く。取り壊し費用については2トで約15万円、6ト7トで約45万円、60万円ぐらいいかかるので、廃船時に補助はできないのか。



鞆奥漁港の漁船の様子

答 乃一農林水産課長
放置船・沈船・廃船は、洪水、高潮時の流出や、巨大地震の津波による背

後住宅等への二次被害、周辺の環境悪化等、多岐にわたる問題が懸念される。高額な処分費用は、漁業者の大きな負担となっている。支援制度の必要性を認識しており、現在、補助創設に向けた検討を進めている。

鞆浦地区排水路の進捗状況は

〈建設課長〉

早期着手できるように進めていく

問 鞆浦高倉地区、北町、仲町、南町地区の流域全体計画書の進捗状況は。また測量、実施設計書作成はいつ頃を予定しているのか。

答 黒木建設課長
北町・高倉地区においては、雨水が水路から

オーバーフローする箇所があるとの報告もあり、現状確認する。
また、雨水の流入元の桜坂頂上付近の調査は、早期に着手できるように進めていく。調査内容としては、流路の高さ、勾配、構造物の形状、周辺の状況を調査し、雨水の分散が可能か検討をしたいと思っている。

移住者向け住宅建築について

〈町長〉労働者確保の観点から考えていければと思う

問 若者の流入人口増加のため、林業振興策として、海陽町産木材で住宅を建築すると、建築関係者の仕事確保や雇用につながる。また間伐材は魚礁としても利用でき、かつ、木材搬出量の増加も見込まれる。森林譲与税を十分に活用しながら、移住者向け住宅を建築してはどうか。

答 三浦町長
全国的な少子化が叫ばれる中、海陽町でも人口減少に歯止めがかからず、民間の労働者不足も懸念されている。町としても、若い世代の労働者を積極的に呼び込んでいく取り組みも必要ではないかと考えているところである。労働者確保の観点から、また森林環境譲与税の使い道の一つとして、施策を考えていければと思っている。

DMVの活用をもっとすべきでは



佐川 富美 議員

〈まち・みらい課長〉

さらなる活用を協議・検討していく

問 「世界初が走る町」と

答 中内まち・みらい課長
DMVからの交通手段の確保について、町営バスは運行時間外の利用はできず、その他の交通手段としては、タクシーやシェアサイクルの活用となっている。移動手段については、他県の事例なども参考にしながら、研究、検討をしている状況である。二次交通の利便性を高め、地域資源のさらなる活用、観光誘客につなげてまいりたい。

問 DMVは12月25日で運行開始1年を迎え、賑わっているが、いつまでも続くわけではない。町独自の取り組みが必要だと思う。町営バスとの連携など、二次交通の整備は考えているのか。



文化村で開催された1周年記念イベント

答 中内まち・みらい課長
看板設置は、集客アツ

いう看板を国道沿いに増設してはどうか。
また、DMVの空き情報、観光案内も兼ねた案内所を、海南文化村に設置できないのか。

プにつながるよう、検討をしている。
観光案内所設置については、人件費等が必要となってくる。今後、DMVの予約状況や運行情報等について案内できる方法があるか、協議を行い対応を考えたい。

ピクニック公園の整備を進められないか

〈商工観光課長〉 全体計画を立て、検討していく必要がある

答 戒谷商工観光課長
ランニングコースは、大規模な施設整備をすることなく、ピクニック公園の環境をフルに活用すれば可能であり、選択肢の一つと考えられる。
また今後、ピクニック公園の施設整備については、全体計画を立て、財源、維持管理コストなど、規模や必要性を総合的に検討することが求められる。

大型遊具については、県に相談・協議しているところである。

問 ピクニック公園の整備されていない場所を活用し、ランニングコース、ストリートバスケット、スケートボードなどの整備はできないのか。
使用禁止となっている大型遊具の整備方針は、どうなっているのか。

お悔やみガイドブックの作成を

〈住民環境課長〉
きめ細かい対応を心掛けている



原 ひろみ 議員

問 身近な人を亡くした後、必要な手続きは複雑かつ多岐にわたる。遺族の負担を軽減するため、

町へ届出が必要な内容、期限、必要な物や、町外への届出の手続きに必要な項目等、詳細をまとめた分かりやすい「お悔やみハンドブック」を作成してはどうか。

答 森住民環境課長

死亡届を提出された方へは、年金や介護保険など必要な手続きの内容を記載した封筒をお渡しし、記載内容の説明も行っている。冊子にはしていないが、簡潔に記載しており、読みやすく分かりやすいようにしている。また、手続き等を一カ所で完結できるように、各庁舎の窓口で、きめ細かな対応をしている。今後、もっと多岐にわたる情報等の要望があれば、各担当課とも連携し、考えていきたい。

介護・看護師不足の解消策を

〈町長〉施策を検討し、早急に対応していく

問 高齢化が進み、今後ますます施設入居者が増えると思われる。しかしどの施設も介護・看護職員の不足に頭を悩ませている。田舎でも住宅費は高く移住者も増えない。今後の必要人材である介護・看護職員確保のために、この職種を限定して、町の住宅費補助制度や資格取得費用補助等のなり手増加対策を考えられないのか。町の今後の対応策をお聞きたい。

答 三浦町長

高齢化が進む田舎にとって、全国的に介護士・看護師不足は喫緊の課題だと認識している。特に海南荘では、人手不足が非常に厳しい問題となっている。住宅補助に関しては、補助制度が良いのか、また空き家バンクを活用した補助であるとか、森林環境譲与税を活用した取り組みなども含め、今後、検討してまいりたい。全国各地が同じ悩みを抱えているところであり、いろいろな提案を聞く中で、効果のある施策を検討し、早急な対応をしてみたい。



海南病院のナースステーションで働く看護師



長江 範裕 議員

若者の意見を もっと聞いてはどうか

〈教育次長〉町長との
意見交換会を実施予定

対しているんな意見を聞
いてはどうか。

答 森崎教育次長

地元高校育成補助事
業の一環として、町内の
企業家を講師に迎え出前
授業を実施し、高校生か
らさまざまな意見やアイ
デアが出され活用してい
る。本年度には、海部高
校生徒会を中心としたメ
ンバーによる、町長との
タウンミーティングを計
画しており、「若者が住
みたい、住み続けた
町」などをテーマとした
意見交換会を実施予定で
ある。

問 町の将来を考えると
若者が定住しやすい環境
を整える必要がある。そ
こで海部高校の他県から
入学している生徒は違っ
た視点で発見もあるし、
町内の児童生徒にも多く
の意見を聞く機会を設け
てはどうか。
20歳を祝う会を式典だ
けで終わらずに、町に

20歳を迎えた方に意見
をもらうことは大変有
意義であると認識してい
る。スマートフォンを使っ
たアンケートを実施し、
意見や提案をもらうよう
考えている。



1月2日に開催された「20歳を祝う会」

問 定住促進に向けて考
えている施策は他にある
か。

アンケートの結果を職
員全体で共有し、政策に
活かすべきではないか。

答 中内まち・みらい課長

移住定住の促進施策に
ついて、移住促進会議を
行っており、その他、空

き家改修支援事業、移住
定住体験事業、おかせRe
ターン海陽奨学金支援事
業、移住定住起業支援事
業、空き家等住宅情報の
提供体制整備事業、海陽
町暮らし体験事業など、
若者を中心とした各種の
移住定住促進策を展開し
ている。

答 三浦町長

重要な施策を全員が共
有するため、各種プロジェ
クトチームを作り、課を
越えた施策検討も行って
おり、いろいろな意見も
聞き、さらに進めていき
たいと考えている。

生涯学習に創意工夫を

〈教育次長〉可能性とチャンス
を最大化するよう進めていく

答 森崎教育次長

自由に機会を選択し学
習できる生涯学習社会の
実現のため、海南文化村
をはじめ社会教育施設の
ICT化を進めてまい
る。地方でも先端の講習
が受けられる環境を生み
出し、生涯を通して、全
ての人の可能性とチャン
スを最大化する生涯学習
を進めていきたい。ま
た、文化館においてのコン
サートや演劇など、本
物の芸術に触れることの
できる施設として、今後
も事業を進めていきたい
と考えている。

問 生涯学習を創意工夫
して進めてほしい。また
本物の音楽や文化に触
れ、町民の心の豊かさを
広げ、心にゆとりを持っ
てもらうために年に一度
くらいは一流のアーティ
ストを呼んでコンサート
等は開催できないのか。

阿佐海岸鉄道の存在意義はあるのか



木内 正和 議員

〈まち・みらい課長〉 持続可能な
公共交通の構築を目指している

問 阿佐海岸鉄道は、30年前に運行を始め、開業以来、決算収支が黒字になったことがない。DMVを運行した、令和4年度決算も、6400万円の経常損失を予想している。企業としての、価値及び利益を生み出す力は皆無であることを、どう考えているのか。

答 中内まち・みらい課長 阿佐海岸鉄道では、経営改善計画に基づく取り組みを進めている。収入増加策や、経費の削減、施設の長寿命化計画の策定など、積極的かつ効果的に実施をしてきている。DMVを核とした経営改善を行うことで、年間1400万円の経営改善の数値目標を定め、基金の取り崩し額が削減できるような努めている。

問 経営改善計画の中では、令和4年から令和8年の5年間で、新たに3億5100万円の基金を積み立てる必要がある。この基金の財源を町民の貴重な税金で賄うのか。基金の財源をどう捻出するのか。

答 中内まち・みらい課長 徳島・高知両県、地元沿線自治体、阿佐海岸鉄道など関係者で協議を行い、平成24年以降、基金が枯渇をしないよう、5年ごとに経営改善計画を策定し、基金の積み増しを行っている。DMV運行による売上げ向上を目指すとともに、誘客、利用促進のさらなる展開、運輸外収入の確保、経費の削減などの取り組みを強化していくことで、収益の増加を図り、基金の取り崩しが削減できるような努めている。

問 この鉄道会社にとどのような持続意義を見出しているのか。町民の移動

の手段としての機能を放棄し、赤字を垂れ流すだけの鉄道の存在意義をどこに求めているのか。

答 中内まち・みらい課長 平成20年度に、阿佐東地域公共交通総合連携計画を策定した。阿佐東線の維持に関して、住民のアンケート調査を実施し、より持続可能な鉄道に向け、DMVの導入の検討も議論され、計画に盛り込まれた。DMV導入の意義や効果は大きく三つ。一つ目は、燃料費、補修費など運用コストの軽減。二つ目は、世界初の車両自体が観光資源であり、新しい人の流れを生み出し、地域活性化、地域への経済波及効果。三つ目は、大災害時に、陸路が鉄路のいずれかが残っていれば交通機能が維持できる。DMVだけでは黒字化は困難なもの、阿佐東地域への経済波及効果は大きく、地域の活性化に寄与するものだと考えている。DMV沿線を中心である海陽町が中心となり、将来にわたり持続可能な公共交通の構築を目指してまいりたい。



阿佐海岸鉄道の3台そろったDMV

ている。DMV沿線を中心である海陽町が中心となり、将来にわたり持続

可能な公共交通の構築を目指してまいりたい。

般

質

問



岸本 安枝さん

塩深字岸ヒタイ 満97歳
(大正14.11.30生)

・元気の秘訣は？

毎食何でも美味しく食べる。
近所を散歩し、地域の人と話をする。

・日常生活は？

ぬか漬けや梅干しを自分で作り
食べている。

ご飯は自分で炊き、おかずは
娘が運んでくる。

・人生の思い出は？

若い頃、大阪で暮らしていて楽しかった。
80歳頃まで楽しんだカラオケ。



自宅の庭にて
(令和5年1月30日)



○ カワラハハコ (河原母子)

河原に生息する多年草で、花期は8月から10月。
河川改修等により、減少している。

編集後記

令和4年は「戦」の一字で表された。新型
コロナ、ロシアのウクライナ侵攻、光熱費・
物価の高騰。核の脅威、地球温暖化など、
世界はまだまだ先行き不透明である。

町議会としても、新型コロナ対策や光熱
費補助、子育て支援策などに力を入れ、令
和5年が危機を乗り越え、希望の見える年
となるよう努力していきたい。

皆さまの声が反映した広報になるよう挑
戦する決意の委員会である。
(原)